

vol. 2291

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL/(097)556-2838 FAX/(097)556-8998 MAIL/ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



## 今号の掲載内容 (掲載順)

- 2023年 新春旗開き
- 第12回九協臨時採用教職員等交流集会
- 高教組フェスタ2022

## 2023年 新春旗開き

とき 1月7日(土) ところ 教育会館201研修室

新年を迎え、「2023年大分県高教組新春旗開き」を開催しました。大野真二執行委員長のあいさつの後、来賓の皆さんや出席者の方々から高教組運動への期待や励ましの声をいただきました。

### 委員長年頭あいさつ (要旨)

あけましておめでとうございます。高教組2023年の旗開きにあたり、労働組合、労働福祉団体や政党など関係するみなさまのご臨席を賜り誠にありがとうございます。

12月に国会が閉会するやいなや、岸田首相は防衛費増を閣議決定しました。メディアの報道も財源確保としての増税などに偏っており、それだけの防衛費が本当に必要なのかという肝心の議論が隅に追いやられています。国会での討論を避け、閣議決定で事足りるとする岸田政権のこの対応は、国民世論を無視した姑息な対応であり、到底容認することはできません。年末のテレビ番組

「徹子の部屋」で、黒柳徹子さんから新年について問われたタモリさんが「新しい戦前になるんじゃないですかね」と答えました。番組では、それ以上の掘り下げはありませんでしたが、1945年8月生まれのタモリさんが発した「新しい戦前」は、現在の状況を厳しく言い当てているのではないかと思います。ロシアのウクライナ侵略など国際関係に緊張が高まる中、敵基地攻撃能力を反撃能力と言い換えて軍事力増強に走る現政権に対して、わたしたちは厳しくその姿勢を質さなければなりません。

今年は、統一自治体選挙の年です。わたしたちの代表を議会に送るためだけでなく、現政権に対する反対の意思を示すためにも、支援する候補全員の当選を勝ちとらなければなりません。教育諸課題の解決、憲法改悪阻止に向け、組織を上げてとりくむことを確認して、新年のごあいさつといたします。

### 来賓一覧

- 則松 佳子 様 (日教組特別中央執行委員、日本労働組合総連合会副事務局長)  
石本 健二 様 (日本労働組合総連合会大分県連合会会長)  
姫野 正二 様 (大分県平和運動センター事務局長)  
滝口元二郎 様 (大分県労働者福祉協議会専務理事)  
吉川 元 様 (衆議院議員)

- 吉良 州司 様 (衆議院議員)
- 吉田 忠智 様 (参議院議員、立憲民主党大分県連合代表)
- 安達 澄 様 (参議院議員)
- 久原 和弘 様 (社会民主党大分県連合代表)
- 尾島 保彦 様 (大分県議会議員、高教組特別執行委員)
- 高野 博幸 様 (大分市議会議員)
- 宗安 勝敏 様 (大分県教育会館理事長)
- 岡部 勝也 様 (大分県教職員組合執行委員長)
- 藤河 隆浩 様 (全日本自治団体労働組合大分県本部副執行委員長)
- 仲摩 剛征 様 (自治労大分県現業職員労働組合執行委員長)
- 佐藤 寛人 様 (九州労働金庫大分県本部本部長)
- 小島 三利 様 (こくみん共済coop 大分推進本部本部長)
- 塩月 裕市 様 (大分県勤労者医療生活協同組合専務理事)
- 内田 淳一 様 (大分県高等学校教職員組合OB会会長)
- 梶原 悟 様 (大分県高等学校退職教職員協議会会長)
- 安東 努 様 (大分県教職員互助会事務局次長)
- 横道 信哉 様 (教職員共済生活協同組合大分県事業所所長、  
高教組前執行委員長)
- 三重野修次 様 (大分県高等学校生活協同組合専務理事)

ご挨拶をいただいた来賓の方々

則松 佳子 様

石本 健二 様

姫野 正二 様

滝口元二郎 様

尾島 保彦 様

## 第12回九協臨時採用教職員等交流集会

とき 11月26日(土) ところ セントヒル長崎

第12回九協臨時採用教職員等交流集会が長崎で開催され、大分高教組からは臨時・非常勤組合員2名と仁木書記次長が参加しました。

この集会の目的は、①臨時採用教職員をとりまく課題の共有化を図ることを通して、課題解決にむけたとりくみの交流や連帯強化を図る ②すべての臨時採用教職員が誇りをもって働き続けられるよう処遇改善・雇用安定・地位向上にむけた運動を推進する です。

開会行事では、日教組中央執行委員の宮国麻弥子さんが、臨時採用教職員の状況や課題について講演を行いました。その後、校種別に分かれて分散会がありました。賃金や待遇など各県で異なり、交渉等で他県のよい事例を挙げながら運動をすすめていくことを再確認しました。

大分高教組は、今後も臨時・非常勤教職員の待遇改善にむけてとりくんでいきます。

### 〈参加者還流報告〉

宮国さんのお話のなかで、自分達の持っている保障や権利のことをきちんと理解していない、知らない人が多いというお話を聞いて、私自身もそういったことに関して深く考えたことがなかったし、そういったことをもっときちんと知っていかうと思いました。

また、分散会では他県の状況などを聞くことができ、勉強になりました。大分は、他県に比べて比較的待遇に恵まれていると知り、そのような現状があるのは組合の先生方の日頃のとりくみの成果なのだと感じました。またそうやってお

話をしていくなかで、自分の置かれている現状を改めて省みることができました。

今回交流会に参加して、とても貴重な経験をすることができました。臨時採用職員の待遇が少しでも改善されるように、私もおかしいことはおかしいと声をあげていこうと思いました。  
(大分南分会 真村典元)

私は現在臨時講師をしています。以前は美術の非常勤講師をしていました。学校に美術の教員が1人しかいないという理由で、美術部の指導や学校行事の準備のため、授業時間外に仕事をしていました。参加者の話を聞いて、現在も状況が変わっていない事、他県も同じような状況である事を知り、非常勤講師の仕事環境の実態を改めて考えさせられました。

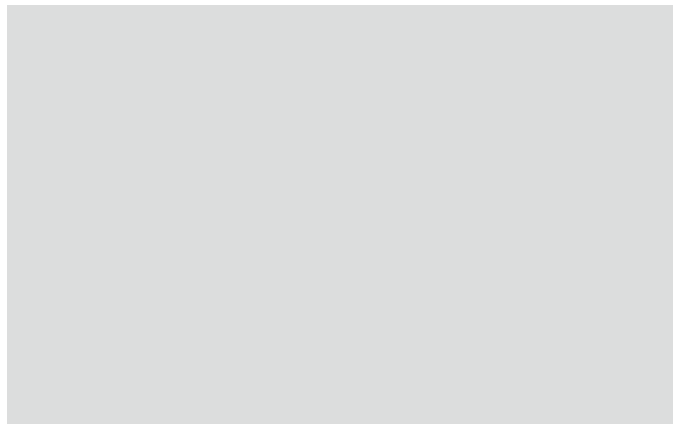
また、分散会に参加して「講師の待遇」で特に改善が必要と思ったことは、臨時講師は育休が取得できないことです。現在、臨時講師は産後休暇は取得できるが育休がなく、退職せざるを得ない状態です。

他県も同じような状態であり、改善策として、臨時の契約期間を半年や1年ではなく、2、3年に延ばして育休が取得できるようにしたら良いという意見が出ました。女性が働き続けられる世の中になってきた今、教育現場も他業種のように、臨時的任用でも育休が取得できる仕組みになることを願っています。そして、正規も臨時もすべての教員が働きやすい環境にしていきたいと感じました。

いろいろと考えさせられた1日でしたが、夕食交流会では他県の方々と日頃の学校の話やこれからの夢を語り合え、大変楽しく過ごしました。

今回は、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

(佐伯豊南分会 後藤佳世)



大分高教組の参加者（分散会の様子）

## 高教組フェスタ 2022

とき 12月4日(日) ところ 大分県教育会館

「高教組フェスタ2022」を開催し、未組織者を含む39名が参加しました。今回も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して開催しました。

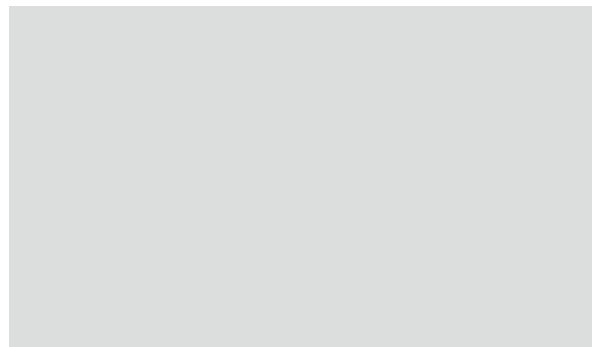
糸永伸哉フェスタ実行委員長（爽風館定時制分会）を中心に、フェスタ実行委員が企画・運営を行いました。

分科会が3つに分かれて開催されました。第1分科会は、「いつまでマスク？ どうしてワクチン？」と題し、国会議員の川田龍平さん、ジャーナリストの鳥集徹さん、元公立中学校校長の原口真一さんがオンラインクロストークを行い、参加者と一緒に新型コロナウイルス感染防止対策について、今後の方向性を一緒に考えました。第2分科会は「お金について」。牧副執行委員長が定年延長の概略を説明した後、教職員共済事業推進部次長の木村大門さんに来ていただき、退職後のマネープランについて学習をしました。第3分科会は、日頃の業務における不安や悩みについて、学校や職種を超えて語り合いました。

また、抽選会も実施しました。

今年度も残念ながら交流会は実施できませんでしたが、集うことの大切さを再確認できました。

実行委員のみなさん、参加したみなさん、ありがとうございました。



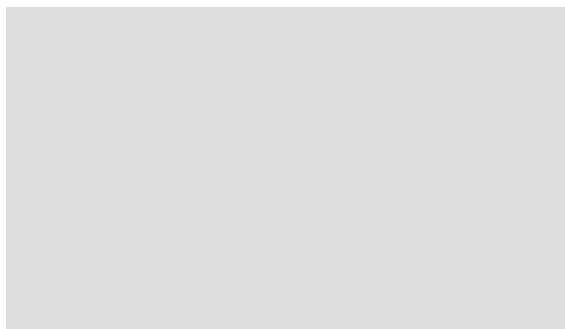
抽選会



第1分科会



第2分科会



第3分科会

■ 参加者の感想 ■

第1分科会

- 学校現場で何をやっていくべきか考えさせられました。学ぶこと、とても大切だと改めて思いました。「『命』を守る教育」「子どもたちの学びの質を下げるな」の言葉、胸に刺さりました。どういう風に情報を得るか、大切ですね。教育者であることの誇りを大切にしていきます。
- いろんな専門、現場の方々の意見をきけたのはとても新鮮で、有意義でした。  
いろいろ聞くほど、今の日本の社会（公的機関）の脆弱性が浮き彫りになってきていると思う（教育、医療、保育、福祉…）。やはり、国のあり様、姿勢が改めて大切で、組合をとおして私たち国民がどのように見て、声を出していくかが重要だと「ワクチン」というテーマから感じとることができた。
- なかなか日頃聞けない貴重な話を聞きました。正しい情報がきちんと周知されない世の中、どのように伝えていくのか。一つは、教育の中で伝えていくという責任も感じます。  
ネットなどよく見れば良いのですが、さすがに時間がかかってしまうので、今回の学習はとても有意義でした。

第2分科会

- お金の話は皆食いつきがよく、一生懸命聞きました。よく分かりました。もっと多くの人に聞いてほしいですね。
- 必要な時期に必要な情報が得られました。とても分かりやすい説明会でした。
- 保障の見直しについて考えさせられる良い話を聞かせていただきました。

第3分科会

- 多くの先生方の考えなどを聞くことができ良かったと思います。毎年、このテーマは続けてほしいと思います。
- 他校の様子を生々の声できけて良かった。「解決」はなかなかできなくても、共有できたことで心の負担は軽くなる気がしました。
- いろいろな先生方のお話を伺うことができ、とても有意義な時間でした。学校種の違いもあり、とても勉強になりました。



全体をとおして

- フェスタには久しぶりに参加しました。いろいろな知り合いに会えて、少し嬉しかったです。学校ではなかなか組合の話ができる時間がとりづらいので、こうした行事は、やはり大切ですね。参加しないと分からないことは多いと思います。
- とても有意義で意欲的な企画で参加して良かったです。できればもっとまわりに積極的に誘えば良かったなと後悔しました。
- 運営、お土産、プレゼント、心あたりました。
- 明日からの仕事を頑張ろうという気持ちになれました。

